



新機能および変更された機能に関する情報

次の表は、新機能および変更された機能をまとめたものです。

表 1: Cisco DNA Center リリース 2.2.3.4 の新機能および機能変更

機能	説明	参照先
システムヘルス検証ツール	<p>システムヘルス検証ツールを使用して、Cisco DNA Center アプライアンスハードウェアと接続された外部システムの両方をテストし、ネットワークが重大な影響を受ける前に対処する必要がある問題を特定できます。検証プロセスでは、次のような多数のチェックが行われます。</p> <ul style="list-style-type: none">• ciscoconnectdna.com への接続機能（システムおよびパッケージの更新をダウンロードするため）。• 期限切れの証明書の有無。• アプライアンスハードウェアとバックエンドサービスの現在の状態。• スケール番号のしきい値を超えたネットワークコンポーネント。	<p>検証ツールの使用 検証ツールページの移動 検証処理の開始 検証処理の詳細の表示 検証セットの更新</p>

表 2: Cisco DNA Center リリース 2.2.3 の新機能および機能変更

機能	説明	参照先
IP アドレスマネージャ (IPAM) の信頼証明書の処理	<p>以前は、IPAM 統合の信頼証明書を手動でインポートする必要がありました。このリリースでは、IPAMを Cisco DNA Center に追加すると、信頼証明書が自動的に Cisco DNA Center トラストプールに追加されます。</p>	<p>IP アドレスマネージャの設定</p>

機能	説明	参照先
スマートプロキシおよびオンプレミス SSM モードでの FQDN 設定に対するライセンスマネージャのサポート	サテライトが FQDN で設定されている場合、サテライト FQDN の Call Home 設定が IP アドレスの代わりにプッシュされます。	接続モードの設定
スマートライセンスポリシーに関するコンプライアンス	スマートライセンスポリシー (SLP) に関するコンプライアンスには、Cisco DNA Center から Cisco SSM に送信されるライセンス使用状況レポートのタイムライングラフが表示されます。ライセンス使用状況レポート処理の一部であるデバイスが表に示されます。	ライセンスマネージャの概要



- (注) この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナルリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、基準ドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。